



# 東部睦会

とうぶむつみかい

設立年 不明

## 設立経緯

江戸時代までには遡らないが、戦前からある古い講のため、設立年だけでなく、設立に至った経緯も不明である。

## 講の名前の由来

記録がなく、不明。

おそらく設立時の拠点が何か東部にあったのだと推測できるが、どの地域における東部なのかわからない。

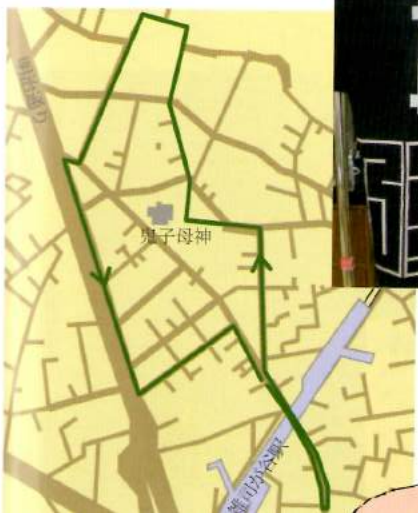
実物見ました！  
本当に精巧で驚きました！



## 特色

- 歴史の古さ。上記の通り、設立の経緯や名前の由来すら遡れないほど昔からあつた。
- 万燈の作り方が、まるで建築物をそのまま縮小したかのように精巧である。
- 万燈の最上部には屋根がある。

■御会式で地元出身の人たちが、まるとクラス会のようになり、地元を離れた人たちにとって、地域の絆を保つ場となっている。



# 燈友会

とうゆうかい

設立年 昭和四九（一九七四）年

講の名前の由来 不明

## 特色

- 御会式最終日の十八日は、大鍋をふたつ使って豚汁をつくり、百人以上にふるまう。
- 新宿や埼玉など、他地域からも参加者が集まる。
- 半纏は、紺色のものと、グレーにザクロの模様が入ったものの二種類がある。紺色は上の年代の人たち、模様入りは若い人たちが着ることが多い。
- 希望者がいれば、御会式の三日ほど前から鬼子母神境内（東京都港区）

## 設立経緯

新しい住民や子どもたちは、古くからあるには入りにくい。そんな人たちが気軽に入っ楽しめる講をつくらうと、「来る者拒まず」の精神で設立した。

雑司ヶ谷霊園

他の県からも来ているなんて  
すごい郷土愛を感じます！



# 鵬輦

おとりれん

設立年 昭和五三(一九七八)年

### 設立経緯

お御輿の会として設立され、その五年後より御会式にも参加を始める。



16日の町内周リルート

### 講の名前の由来

大鳥神社より名をとる。

### 特色

- 纏を振るのは子どもたちが多い。
- 練供養には二百人(十六日は三百人)参加する。子どもが多いため、目立つよう黄緑色の半纏とした。
- 大鳥神社の祭礼がメインであるため、十月から花折りや太鼓の練習を始める。「やりたい人がやる」というスタンス。
- 十六日の直会は大勝軒貸切。



子供の参加が多いのはにぎやかになっていいですね

# 南和會

なんわかい

設立年 昭和五七(一九八二)年

### 設立経緯

東池袋四丁目南町会のお御輿の会から生まれる。会員が少ない会であるため鵬輦と合同で御会式参加している。

一九九〇年に御会式連合会に加入している。

### 講の名前の由来

東池袋四丁目南町会の「南」と平和の「和」の文字を取り、南和會と名付けた。



### 特色

- 鵬輦と一緒に町内周りをやっているという点が大きな特徴である。
- お仮屋や万燈作りの作業は鵬輦の若い人に任せているが、一方で年代に隔たりがある鵬輦との大事な調整役を担っている。
- 地道にやってきたことが地域からの信頼に繋がっている。

一緒に練り歩いてるところもあるんですね。知りませんでした。

中島御嶽というのが  
ありますネ



▲「東京全圖」  
国際日本文化研究センター  
データベースの画像をもとに作成

1900年の地図上では、弦巻川の北、現在の  
雑司ヶ谷霊園の南辺一体に「中島」という  
地名が確認できます。

### 講の名前の由来

不明 ※インタビュ後のヒアリングにより、  
古地名にちなんで命名されたらしい  
ことが判明しました。

### 特色

- 乳母車の赤ちゃんから八十代の方まで、  
幅広い年齢層が参加している。
- 特に子供の数は、他の講に比べ多い。
- 十七・十八日の練供養は大人が中心。
- 万灯のバッテリーコードは、移動の際に  
運ぶのが大変。そのため、二〇一三年か  
らは二、三時間もつLEDライトを導入  
する。これにより、排気ガスの問題も解  
消する。
- 炊き出しメニューは、おでん、豚汁、  
おにぎり、カレーなど。
- 十日前から毎晩、纏の練習を行う。



★16日の町内周りは、清立院と本浄寺に立ち寄る以外のルートが決められていないので、ルート図は割愛する。

### 設立年

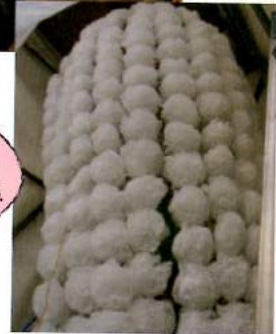
江戸時代

### 設立経緯

とても歴史のある講で、いつどのよう  
に設立されたか詳しくは不明。  
戦争を機に一時活動が中断され、三十二  
年前に有志三十五人ほどで再び立ちあげた。

# 三嶽中島講

みたけなかじまこう



女装！？  
見てみたいです！

- 太鼓は、初めから終わりまで  
同じ音色で叩けるよう、こだ  
わっている。ずれたら一度止  
めて、皆でしっかりとリズム  
を合わせるようにしている。
- 全員で祭りに参加するため、  
炊き出しは行わず、酒や食べ  
物は奉納者の店から購入して  
いる。
- 雑司ヶ谷の御会式に昔から多  
い「女装」を復活させようと、  
去年・一昨年は会長自ら女装  
をして御会式に参加した。

★16日の町内周りは行っていない

# 波羅門

ばらもん

### 設立年

昭和三二〜五三  
(一九五七〜一九七八)年

### 設立経緯

町会単位の講は町会に所属していな  
ければ参加しにくい。また、商店街が  
中心になっていると、一般家庭は入り  
にくい。そのため、町会に属さない会  
費制の会を、雑司が谷三丁目の八、九  
人で設立した。  
雑二講出身者が多い。

### 講の名前の由来

インドの神様の名前から。

### 特色

- 万燈や提灯などは、すべて会員のでづくり。  
作業には会員全員で取り組む。  
万燈は二日間で作成する。



名前がカッコイイ！